

# 導入成功事例 No.21 レポート

ネットワーク型デジタコ DTS-D1D

## 大隅物流 有限会社 様



### 「医薬品の品質を維持する輸送へ。 荷室温度をリアルタイムに把握できるから導入」



原薬から中間体、さらにワクチンや治験薬、そして製剤まで、医薬品専門の輸送を行っている大隅物流様。製薬企業の工場、研究所、物流センター間だけでなく、輸出入を行う空港へのチャーター便輸送にも対応されています。医薬品の品質維持のため、保有している15台の車両すべてが加温機能付きの温度調節車です。

#### 導入の きっかけ

医薬品輸送で特に重要になる、荷室の温度管理。他社製のカード型デジタコを活用されていた従来は、運行中のドライバーに設定温度と実際の温度を毎回電話で確認していたため、手間も時間もかかり、また安全運転にも影響するため、大変でした。そこで2015年8月に導入されたのが、ドライブレコーダ搭載ネットワーク型デジタコ DTS-D1D。全車両の荷室温度、設定温度、外気温までリアルタイムに把握でき、さらにドライレコ映像を活用して安全運転指導ができる点が選択のポイントでした。代表取締役の山川様は「特に荷室温度の管理は、ドライバーにも本社スタッフにも負担をかけずに、きめ細かくできる」と好評です。



代表取締役 山川栄明 様

#### USER PROFILE

### 大隅物流 有限会社

設立：1964年2月  
 本社所在地：茨城県稲敷市下太田1771-57  
 TEL：0297-75-1121  
 代表者：代表取締役 山川 栄明  
 資本金：2000万円  
 拠点数：1カ所  
 車両：15台(3t車、4t車、10t車:各5台)

#### 課題

- 電話での荷室温度確認が手間
- ヒューマンエラー発生への不安
- 荷積み荷卸しなどの状況がわからない

#### 効果

- 荷室温度をリアルタイム確認
- 本社での状況監視でうっかりミスを防止
- 作業の進捗状況も見える化

医薬品	チャーター便	全国規模	車両15台	拠点1カ所
-----	--------	------	-------	-------



## 品質維持が絶対の医薬品、輸送品質に最大の配慮。

医薬品輸送で大切になる荷室温度管理。大隅物流様では、通常車両の約1.3倍、100mm厚の断熱材を採用した独自仕様の加温機能付・温度調節車両を用意されています。山川社長様にお聞きしました。「ひとの命や健康に深くかかわってくるのが医薬品です。その品質に影響を与えない輸送こそ大隅物流の使命。ネットワーク型デジタコの導入も輸送品質の向上が最も大きな目的でした」。

### 輸送品質の向上 1 冷凍機連携&温度センサで二重の管理。

「荷室の設定温度は維持されているか、実温度は何度か、さらに外気の実際の温度はどうか。気になる点がすべて分かるように、冷凍機とデジタコを連携させて、冷凍機の設定温度と実温度を取得しています」。さらに温度センサで外気温を取得し、徹底したリアルタイム温度管理で輸送品質の向上を図っています。「ドライバーに電話でその都度、状況を確認していた従来と違って、事務所側でリアルタイムに全車両の荷室温度が把握できるので安心です」。



冷凍機のコントロールパネルとネットワーク型デジタコを連携

### 輸送品質の向上 2 システム活用でヒューマンエラーを徹底防止。

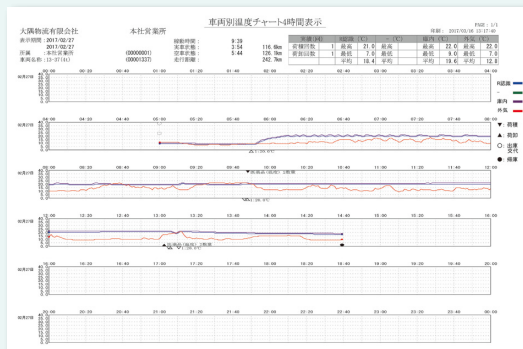
輸送品質の向上がドライバーにも浸透している大隅物流様。それでも、温度設定を間違えるなどヒューマンエラーへの不安は残ります。その点でもネットワーク型デジタコが活躍します。荷室温度異常はもちろん、出庫/帰庫、違反運転を事務所のパソコンと運行管理者のスマートフォンにお知らせ。ドライバーの携帯ではなく事務所からデジタコへのテキストメッセージで、設定温度の確認指示をするなど、運転を邪魔せずに連絡できます。運行状況を運行管理者、経営者が見守ることで、万一のトラブル対応やうっかりミスの防止を徹底しています。



運行データも荷室温度もドラレコ映像も必要な時にすぐにチェック可能

### 独自の取組み モバイルアルコールチェッカ、ドアセンサも。

日本全国へ複数日の長距離運行を行う大隅物流様。安全・安心の運行のために、モバイルアルコールチェッカを採用しています。また、荷室ドアの開放時間管理のためにドアスイッチを装備して、荷積み、荷卸し時間の確認、温度逸脱要因のチェックなどに活用。医薬品の品質に影響を与えない標準作業手順書の策定・提案に役立っています。必要であれば山川社長様自ら実際の医薬品輸送を行って、作業現場の確認も実施。輸送品質を追求されています。



温度調整の設定値、荷室の実際の温度、外気温度が一覧可能

### 安全面のメリット ドラレコ映像を活かした安全指導も実施。

基本的に安全運転が浸透している中でも、気になる違反運転があった場合にはドラレコ映像をダウンロードして確認。必要な場合には運行中に臨時の休憩を取らせたり、帰庫時に動画を活用して安全指導を行うほか、実際のヒヤリハット映像を使った安全講習も定期的に行っています。また、各種帳票機能も有効活用。「予めルートが決められている輸送では、荷主様に運行履歴で指定ルートを通りしたことが証明できる点も便利です」。



運行状況をとらえる車載カメラ



より厳密な荷室温度記録が可能な温度ロガーも日本正規代理店として取扱い



長距離運行に備えてモバイルアルコールチェッカも用意

●お問い合わせ先

■製品・サービスについてのお問い合わせは



株式会社 トランストロン

情報サービス営業部

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-15-16 NMF新横浜ビル

TEL.045-476-4640 FAX.045-476-5023

http://www.transtron.com/